

収支のバランスがとれた財政マネジメント

SDGsの ゴール・ 目標	8 働きがいも 経済成長も 
---------------------	--

実施項目名	観光振興を目的とする新税の導入	所管課	観光政策課、税務課
主な課題	沖縄が世界に誇れる観光リゾート地として発展していくことを目指すとともに、県民生活と調和した持続的な観光振興を図るための財源を安定的、継続的に確保する必要があります。		
取組内容	観光振興を目的とする新税の導入について、可能な方策を検討し、その実現に向けて取り組みます。		
取組による効果	新たな自主財源の確保により、観光諸施策を安定的、継続的に推進することが可能となります。		
県民から見た行政運営の変化(実施項目の目標)	観光客の受入整備等において応分の受益者負担を検討していくことで、県民生活と調和した持続的な観光振興が図られます。		

■具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
1 新税の導入	関係各課、観光関連団体等との意見交換	導入に向けた検討、調整		制度の周知	新税の導入	新税の導入による、安定的な財源の確保
活動指標	意見交換会10回	意見交換会10回 検討会2回	検討会2回	市町村等説明会5回		
2 新税の導入(税条例・体制整備関係)	関係各課、関係団体等との意見交換	条例案の作成・調整 条例案の議会提出 総務省大臣協議		条例の公布・周知、導入時期等の調整	新税の導入	新税の導入による、安定的な財源の確保
活動指標	意見交換会(上記と同様)	意見交換会(上記と同様) 協議会1回 導入団体視察2回	協議会1回 導入団体視察1回	宿泊事業者等説明会8回		

■成果指標

成果指標名	基準値 (R3又はR4)	年度ごとの目標値			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 新税の導入	—	R8年度までに新税を導入			

【参考】これまでの主な取組

平成30年度に有識者及び観光関連団体等で構成する「観光目的税制度の導入施行に関する検討委員会」を設置し、制度設計等について提言を受けた。
 令和元年度に総務部において庁内関係部局で構成される「沖縄県法定外目的税制度協議会」を開催し、制度設計案をとりまとめた。
 令和2、3年度には新型コロナウイルス感染症の影響により導入スケジュール等の見直しのため庁内各課と調整を行った他、市町村や観光関連団体との意見交換を実施した。